

9月から販売を開始。現在は、富士見農産物直売所や風ラインふじみ農産物直売所、各種イベントなどで販売しています。



1袋 600円 (800g)

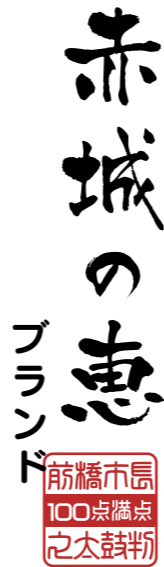
空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、妥協を許さず、手間を惜しまず、生産者が丹精して作った「赤城の恵ブランド」。

今回は100%前橋産の原材料(米・大豆・きび)を使用した「手づくり赤鳥居みそ(きび入り)」を紹介しします。

■**まろやかな味が自慢**

米みその雑穀の中でもタンパク質とカルシウム豊富なもち性のきびを入れることで、栄養価も高く、甘みがありまろやかな味わいのみそができました。まろやかで深みのある味に仕上がっています。包装には「赤城大鳥居」と「レンゲツツジ」がデザインされています。平成23年

手づくり赤鳥居みそ(きび入り)



vol. 3



■**手作りだからおいしい**

大豆を圧力鍋で煮る。冷めた大豆に米こうじときびこうじ、塩を混ぜ合わせる。大豆をつぶし、漬物だるに詰めて、重しを載せ熟成させる。みそが出来上がるまで1年、こうしたみそ作りの一連の作業が、地元の女性農家の皆さんを中心に手作りで行われるから、おいしくて、安全です。

■**生産者からのメッセージ**

一つ一つの手作業に真心を込めて作っています。きびが入ったことで、こくが出るようになりました。ぜひ、生みそで召し上がってください。

■**健康・栄養**

みその原料の大豆は良質のたんぱく質を含んでいて、昔は主要なたんぱく質源でした。発酵過程で酵素の働きによって、たんぱく質がアミノ酸に分解され、消化吸収されやすくなっています。またビタミン類も含まれ、新陳代謝を促進します。

問い合わせは  
富士見農産物加工組合

☎027-288-7919 (土曜のみ)

アーツと相乗効果でまちを元気に



まちなかに  
紅茶スタンドを開設

狩野 光洋さん 37歳  
後閑町

今年13日に馬場川通り沿いに紅茶スタンドをオープンする。紅茶の茶葉を販売するのと併せて、紅茶を飲むこともできるスタイルの店舗だ。

「シェアオフィス『FRASCO』で活動しているうちに、まちなかに住んでいる人やそこで働いている人たちとたくさん知り合いました。その人たちと仲良くなるにつれて、まちなかに出店したいという思いが強くなったんです」

幼いときから紅茶に興味があり、30歳のころから研究を始めた。今はインターネットで茶葉の通信販売などを行っている。「趣味が高じて気が付いたら仕事になっていったという感じです」

紅茶の魅力は「多くの人が楽しめる」こと。この魅力を多くの人に伝え、「前

橋に紅茶の文化を根付かせたい」とも語る。本市やまちなかに愛着を感じている。そんなまちなかにアーツ前橋がオープンすることは、狩野さんにとって嬉しい出来事だという。26日のアーツ前橋のグラウンドオープンに間に合わせたいとの思いから開店の日を決めた。

「まちなかにもっと活気があるころの記憶が残っています。今は少し寂しくなっていますが、そんな中でアーツ前橋という新しいスポットができ、それを応援したくて開店させたいという気持ちがあります。お店とアーツ前橋で相乗効果を発揮できたらいいですね」

本市と紅茶への熱い思いを語る狩野さん。アーツ前橋と狩野さんの思いが、本市に新しい風を運んでくれるに違いない。



風車の下で前橋東部商工祭

大胡ぐりーんふらわー牧場で9月15日、前橋東部商工祭を開催しました。宮城県南三陸町「南三陸さんさん商店街」の皆さんが特産品を販売したほか、歌謡・キャラクターショー、大抽選会などを実施。多彩な催しに、子どもから大人まで多くの人を訪れました。



前橋にご当地キャラが大集合

9月7日・8日、中心市街地でご当地キャラクター大集合in前橋が開催されました。全国から約30体のキャラクターが集まり、地元をPR。2日間とも最後にはパレードも行われ、会場を訪れていた人たちはお気に入りのキャラクターと楽しい時間を過ごしました。



マイバス新デザインをお披露目

児童文化センターで9月22日、バスフェアに合わせてマイバス東循環のデザイン表彰式が行われました。984点の応募作品の中から、宮内奈津美さん(勝沢町)のデザインが最優秀賞を受賞。式では宮内さんのデザインが施されたバスがお披露目されました。



多彩な音楽を目の前で鑑賞

9月22日と23日に、中心市街地で風のまち音楽祭を開催。ジャズやクラシック、ロック、フォークなどの多彩な音楽を、66組のアーティストが演奏しました。中央通りでは多くの買い物客が足を止める様子も。まちなかに音楽に包まれた2日間となりました。